

第10回 さまざまなビジネス

金融業

執筆・講師 粕谷和生

城西大学経営学部特任教授



学習のねらい

これまで製造業や小売業、卸売業など、さまざまなビジネスを学んできました。今回は、これまで学んできたビジネスをサポートするビジネスにスポットを当てます。それは金融業です。

番組では、金融業に属す銀行、証券会社、保険会社のビジネスを解説します。金融とは何か、銀行、証券会社、保険会社はどのようなビジネスをしているのか、そして、金融業は今日、どのような展開をしているのかについて学習しましょう。



金融/間接金融/直接金融/金融業/銀行/証券会社/保険会社/金融機関/預金業務/貸出業務/為替業務/銀行の三大業務/有価証券/保険料/保険金/相互扶助/普通保険/生命保険/損害保険/東京証券取引所/ネットバンキング/ネットバンク/デジタルバンク

Point 1 金融業のビジネス

私たちの社会には、資金に余裕のある者と資金を必要とする者がいます。資金に余裕がある家計や企業は、資金を必要とする企業などに、自己の資金を貸し出したり、投資したりしています。このように資金に余裕のある者から資金を必要とする者へと資金を融通することを**金融**といいます。金融には直接金融と間接金融がありますが、高校生には、間接金融のほうが身近でわかりやすいので、そちらを先に紹介します。

間接金融とは、資金に余裕のある者から、銀行などの金融機関が資金を預かり、資金を必要とする企業などに資金を融通する（貸し出す）仕組みです。この場合、資金に余裕がある者とは、銀行などにお金を預けた預金者です。

これに対して**直接金融**とは、資金を必要とする企業が、株式や社債を発行し、それを資金に余裕のある者が購入することで、企業が資金を調達する仕組みです。この場合、資金に余裕がある者とは、株式や社債を購入した投資家です。

金融をサービスとして提供する事業を**金融業**といい、金融業には、銀行業、証券業、保険業などがあります。それぞれ**銀行**、**証券会社**、**保険会社**が営んでいて、これらを総称して**金融機関**といいます。

Point 2 金融業の種類

■ 銀行

金融機関のうち、私たちに最も身近なものが**銀行**です。銀行が行うおもな業務には、**預金業務、貸出業務、為替業務**があり、これらを**銀行の三大業務**といいます。

預金業務は、家計や企業から余裕資金を預かり、これを預金として安全に管理・保管し、預金者に一定の利息を支払う業務です。預かった預金が普通預金や当座預金の場合、預金者はその預金をさまざまな場面において、決済手段として使うことができます。

貸出業務は、資金を必要としている家計や企業に資金を貸し出す（貸し付ける・融通する）業務です。貸し出しの形態は、借用証書を用いた証書貸付が圧倒的に多く、約束手形を用いた手形貸付は今日では減少しています。

為替業務は、企業と企業の間、または、企業と家計の間などの資金のやり取りを、直接現金を輸送せずに仲介する業務です。具体的には、銀行振込や口座振替などがあります。

■ 証券会社

証券業を営む会社を証券会社といい、証券会社は株式や社債などの**有価証券**に関する業務によって収益を得ています。

証券会社の主な業務は、次の4つに分けられますが、番組では委託売買業務と自己売買業務の2つを紹介します。

▶ 委託売買業務（ブローカー業務）

……証券会社の伝統的な業務で、顧客から株式や社債などの有価証券の売買の注文を受けて証券取引所に取り次ぐ業務

▶ 自己売買業務（ディーリング業務）

……証券会社が自己資金で株式や社債などの有価証券を売買し、その売却益の獲得を目指す業務

▶ 引受業務

……企業や地方自治体などが、株式や公債などを発行して資金を調達する際に、証券会社はその全部または一部を引き受けて（買い取って）、その後、投資家に販売する業務

▶ 募集売り出し業務

……新たに株式や社債などが発行されるとき、その発行会社の委託を受けて募集売り出しを行う業務

■ 保険会社

交通事故や病気、けがなど私たちの周りには、さまざまなリスク（危険）があります。同じようなリスクや不安をもった多数の人々が**保険料**を出し合い、それを準備金として積み立

てておき、メンバーの誰かに保険事故（損害）が発生したときには、その準備金から**保険金**が支払われます。これが保険の仕組みです。「困った時はお互いさま」という互いに助け合う**相互扶助**を目的に作られたのが保険制度です。

番組では、民間の保険会社が扱う**普通保険**を取り上げます。普通保険は**生命保険**と**損害保険**に分けられ、生命保険は、主に人の生死を保険の対象にした保険で、死亡保険などがあります。損害保険は、建物、家財、商品などの財産を対象とした保険で、火災保険や自動車保険などがあります。

Point 3 金融業の新たな展開

金融業の新たな展開として、今回は東京証券取引所と新しい形態の銀行を見てみましょう。

(1) **東京証券取引所**は、日本取引所グループに属し、有価証券の売買を行うための市場施設の提供、相場の公表および有価証券売買の公正の確保などに関わる業務を行っています。中核となる市場は三つあり、株式の流通量など市場規模の大きい順にプライム市場、スタンダード市場、グロース市場があります。ここで導入されている売買システムは、高速性・信頼性・拡張性に優れた世界最高水準のもので、また、東京証券取引所の株式売買は、売買代金の7割を超える取引を外国人投資家が行っており、グローバル化が進んでいます。



(2) 利用者が銀行の窓口やATMに行かなくても、パソコンやスマートフォンなどからインターネットを介して銀行サービスを受けられる仕組みを**ネットバンキング**といい、ほとんどの銀行が導入しています。また、ネットバンキングを専門に行う銀行を**ネットバンク**といいます。ネットバンクは従来型の店舗をもたずに営業していますので、店舗維持コストなどがかからない分、預金利率を高く設定できます。これが好評で預金量が急拡大しています。

そして若い世代をターゲットにした**デジタルバンク**と呼ばれるさらに新しい形態の銀行も登場してきました。スマホのアプリを使い、とても便利に銀行の各種サービスを受けることができます。